



白南風小学校 学校だより

令和6年6月21日号

# しらはえっ子

校長 三代 直正

やさしさいっぱいの子 やる気いっぱいの子 元気いっぱいの子

## 来校いただきありがとうございました

6月10日～6月14日の学校開放週間には、お忙しい中370名もの多くの皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。



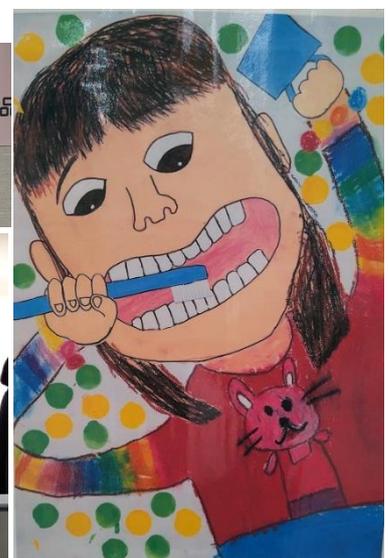
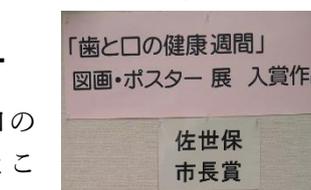
6月11日、13日の道徳授業公開では、子供たちが命について考える様子をじっくり参観いただきました。1年生「ハムスターの赤ちゃん」2年生「たんじょう日」3年生「いたいたいのち」4年生「わたしの見つけた小さな幸せ」5年生「お母さんへの手紙」あじさい「いのちのはなしグーチョコキパー」ひまわり「おばあちゃんが残したもの」6年生「ある犬のおはなし」の資料を使って授業を行いました。自分の命、家族の命、友達の命を大切にする白南風っ子をこれからも育てていきます。

## 市長賞おめでとうございます

2年生が図工の時間に取り組み、「歯と口の健康週間」図画ポスター展に応募していたところ本校の2年生                     さんの作品が市長賞を受賞しました。

6月2日には、まちなかコミュニティセンターで表彰式がありました。写真は、副市長さんから賞状をいただいている様子です。おめでとうございます。

毎日はみがきを頑張りたくなるようなカラフルで元気が湧いてくる作品です。



## 宿泊体験で学んだことを生かして



5年生は5月30日～31日に、佐世保青少年の天地にて一泊二日の宿泊体験学習を実施しました。

宿泊体験学習の目的は次の3つです。

- ・活動を通して自然に親しみ、その大切さを感じ心身を鍛える。
- ・規律ある集団生活を通して、集団の一員としての自覚を高める。
- ・お互いの理解と友情を深める。

コロナ禍では、様々な体験学習が中止や制限されたことが、子どもたちにも少なからず影響していることを今、感じています。

全学年の児童に言えることですが「**集団で行動すること**」が特に難しいところがあるようです。並んで移動する、バスの中での過ごし方、決まった時間に遅れないようにする…コロナ禍は、家族単位や少人数で活動することが多かったので…と思っています。

そんな中、今回の宿泊体験学習で5年生のがんばりが見られたところがありました。上の3枚の写真を見てください。オリエンテーリングで烏帽子岳頂上まで登った様子です。リーダーを中心にポイントを見つけようと班が一つになり、達成感を味わいました。眼下に広がる佐世保の街並みに向かって元気よく手を振る姿を頼もしく思いました。もう一つは、「**理解すればできる**」ということです。私は、入浴時の指導に手が足りないと考え学校を閉め、急いで天地へ向かいました。入浴する男子に「**家のお風呂のようにそのまま出てきたら、脱衣場が大変なことになるから、上がる時はタオルを絞って、ふくんだよ。**」と、**タオルを実際に絞って見せ、体のふき方を指導**しました。すると、さすが白南風小学校の5年生です。絞り方、ふき方を理解すると、脱衣場が濡れることなく着替えることができました。

以上体験・経験の大切さを改めて感じた2つの出来事でした。これからの5年生の成長が更に楽しみになりました。

各学年でも体験学習を大切にしています。我々も子供たちの経験を補うような具体的な指導を心がけ、実り多い学習にしていきます。

## プールがきれいになりました！気持ちよく学習できます



6月7日に4・5・6年生がプール掃除をしました。各学年で場所を分担して、手際よく作業を進めました。子供たちの頑張りのおかげであっという間にきれいになりました。6年生は、4年生の時から3年間もプール掃除を頑張ってくれたので、ご褒美として



プール開きをした6月14日に、一番目最初に泳いでもらいました。(右の写真です。)